



上/全国から多くのボランティアが参加。リピート率は4割以上
中/地元の若者のボランティア参加もこの春は断念。写真は花壇自動車大学の学生たち(19年5月)
下/海外のオイスカ組織スタッフを招聘してのEco-DRR研修を実施

との間隔などが問われます。これまで、育苗の段階から再生の会の皆さんが高品質苗木を追求し、宮城中央森林組合や松島森林組合のブロの方々の技術に頼り、ボランティアでそれを補うという人海戦術、チームプレー、パトリーレの結果、クロマツは惚れ惚れする若者に育ってきたと思います。

今期は10年目の節目の年、大々的な募金活動も最終年度と想っていたところに新型コロナウイルス襲来となりました。3月以降、700名ものボランティアをお断りし、富山県を皮切りに、愛知県、埼玉県、東京都、宮城県などで開催を予定していた活動報告会も取り止めとなりました。

ました。寄附も大きく落ち込む可能性があると考えております。しかし、その緊急事態宣言下においても、仙台空港真東の旧北釜地区宅地の一部と乗馬場跡地6.42haが、協定面積に追加され(合計103.04ha)、県内最後の植栽を開始。下刈りも例年通り、5月末からブロの手で行っています。宮城の皆さんの底力で、成すべき時に成すべきことを確実に進め、安定雇用を継続しています。

見せましょう! オイスカの底力を



まもなく、震災から9年半を迎えます。のちに「名取市海岸林再生の会」(以下、再生の会)のメンバーとなる皆さんと避難所で出会ったのが、震災から2ヵ月が過ぎた5月24日のこと。2012年3月に初めて種を蒔き、2年間の育苗を経て14年4月に初植栽したクロマツ約8万本の平均樹高は、昨年11月の計測で3m以上、部分的には5mを超える

区域も見られました。その14年植栽地は、6年間徹底して下草刈りを行った結果、今期からの草刈りは管理道のみとなりました。今後は除伐とツル切りを経て、40年かけて5分の1の本数に仕立てる本数調整伐を行っていくこととなります。

910日間。これは、東日本大震災直後から、宮城県で進む「海岸林再生プロジェクト」を担当してきた吉田俊通が、東京にあるオイスカ本部を拠点にしながら、この9年間で現場に滞在した日数である。都内で国との連携を図り、国内外の支援者への報告などを重ねながら、現場に足を運んできた吉田が、コロナ禍における現在のプロジェクト、そして自身の思いを綴った。



上/計測作業も困難なほどに育っている2014年植栽地
下/高品質の苗を生産する「名取市海岸林再生の会」メンバー

〈2019年度収支報告〉

単位:円

項目	2019年度内容	2019	累計(2011年~)
収入	募金・寄附金など	73,695,819	732,057,472
	民間助成金	2,696,320	49,526,574
	前期繰越金	33,188,843	
	合計	109,580,982	781,584,046
支出	育苗事業	6,897,015	152,627,008
	造林・育林事業	24,601,746	200,077,522
	調査事業	75,730	11,337,601
	啓発普及事業	21,823,126	112,853,133
	支出総額	53,397,617	476,895,264
	次期繰越金	23,478,001	23,478,001
	特定費用準備資金※	2021年以降の長期育林費用として	32,705,364
合計		109,580,982	781,584,046

※公益法人が、実施期間や内容などが明確な事業に対し、将来の計画的な実施のために積み立てる資金のこと。内閣府に提出した計画に基づいて積み立てられます

コロナ禍により、寄付先団体に認定されていた大阪マラソン2020も中止となりました。ですがブロのみなさんの動きは例年通りを維持し、6月20日からは宮城県民だけでボランティアを再開しました。今年のクロマツは、これまで以上の伸びを見せています。多くの皆さんの熱意と愛情、汗が注がれてきたおかげです! 予定通り募金活動は今年度で終了します。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

プロジェクト担当部長
吉田俊通



〈2019年度活動実績〉

	内容	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	累計
育苗	クロマツなど播種数	—	97,500	72,500	87,250	89,856	96,400	57,000	45,800	3,000	549,306粒
	植栽面積	—	—	—	15.67	10.06	11.00	13.66	16.32	2.00	68.71ha
植栽	植栽本数	—	—	—	80,182	55,084	56,037	71,945	81,600	6,000	350,848本
	雇用	—	187	658	1,402	1,150	1,274	1,469	1,329	979	8,448人
市民参加	現場ボランティア数	—	—	262	1,365	1,691	1,800	2,096	2,273	1,892	11,379人
	現場視察者数	263	580	837	567	577	168	231	132	44	3,399人
	活動報告会開催数	4	43	28	30	30	26	30	22	24	237回
	活動報告会参加者数	523	4,772	5,900	4,692	4,996	3,893	5,911	4,178	3,347	38,212人
メディア	国内新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど紹介回数	24	39	27	33	38	20	23	21	7	232回

※前年度の活動報告会開催数の実績に誤りがありましたので、本表にて修正しました